

感染症発生動向調査情報(週報)

2013年14週(04月01日～04月07日)

○ 山梨県内流行情報

感染症の大きな流行はありませんが、感染性胃腸炎及びインフルエンザの報告は続いており、引き続き注意が必要です。また、全国で風しんが流行しており、山梨県内でも今年に入って6件の報告がありました。妊娠の可能性のある方がいらっしゃる場合は、その家族や周囲の方はワクチンを接種するなどの対応を取り、特に感染予防に努めましょう。

○ 富士・東部管内流行情報

インフルエンザ、感染性胃腸炎の報告数は減少しましたが、富士・東部管内の小中学校でインフルエンザによる学級閉鎖もあり、引き続き注意が必要です。手洗い・うがいを励行し、感染予防に努めましょう。

○ 定点報告の感染症

定点・・・定点当たり報告数

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	13814	2.8	580	0.18	844	0.27	4557	1.45	21878	6.95	3599	1.14
山梨県	110	2.75	2	0.08	4	0.17	32	1.33	146	6.08	27	1.13
中北	49	3.77	2	0.25	1	0.13	9	1.13	64	8	11	1.38
中北峡北	22	2.75	-	-	-	-	15	3	32	6.4	3	0.6
峡東	11	1.57	-	-	-	-	6	1.5	26	6.5	8	2
峡南	1	0.33	-	-	-	-	-	-	2	1	2	1
富士・東部	27	3	-	-	3	0.6	2	0.4	22	4.4	3	0.6
	手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	590	0.19	194	0.06	1700	0.54	29	0.01	108	0.03	785	0.25
山梨県	1	0.04	-	-	11	0.46	-	-	-	-	3	0.13
中北	1	0.13	-	-	6	0.75	-	-	-	-	1	0.13
中北峡北	-	-	-	-	2	0.4	-	-	-	-	1	0.2
峡東	-	-	-	-	1	0.25	-	-	-	-	1	0.25
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	-	-	2	0.4	-	-	-	-	-	-
	急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	13	0.02	342	0.5	10	0.02	18	0.04	195	0.42	14	0.03
山梨県	-	-	1	0.11	-	-	-	-	2	0.2	-	-
中北	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.33	-	-
中北峡北	-	-	1	0.5	-	-	-	-	-	-	-	-
峡東	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.5	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

○ 山梨県週別発生動向

疾病	推移	状況	14週		13週		12週		11週	
			定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数
インフルエンザ	やや減少しています	平年並みです	2.75	110	5.75	230	8.08	323	8.68	347
RSウイルス感染症	横ばいです	流行しています	0.08	2	0.08	2	0.04	1	-	-
咽頭結膜熱	横ばいです	平年並みです	0.17	4	0.21	5	0.46	11	0.46	11
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	減少しています	平年並みです	1.33	32	2.21	53	1.25	30	1.58	38
感染性胃腸炎	減少しています	平年並みです	6.08	146	7.83	188	7.33	176	9.04	217
水痘	やや増加しています	平年並みです	1.13	27	0.88	21	0.92	22	0.54	13
手足口病	-	-	0.04	1	-	-	0.04	1	-	-
伝染性紅斑	-	-	-	-	0.04	1	-	-	0.04	1
突発性発疹	横ばいです	流行しています	0.46	11	0.46	11	0.33	8	0.58	14
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	-	-	-	-	0.04	1	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	-	-	0.13	3	-	-	-	-	0.04	1
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	横ばいです	平年並みです	0.11	1	0.56	5	0.11	1	0.11	1
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	やや増加しています	流行しています	0.2	2	0.1	1	0.1	1	0.2	2
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	0.1	1

※推移と状況のコメントは、過去5年分のデータ(平均値等)に基づき表示しています。

○ 全数報告の感染症

分類	疾病名	保健所名	性別	年齢
二類感染症	結核	中北	男	59
二類感染症	結核	中北	女	32
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	中北	女	20